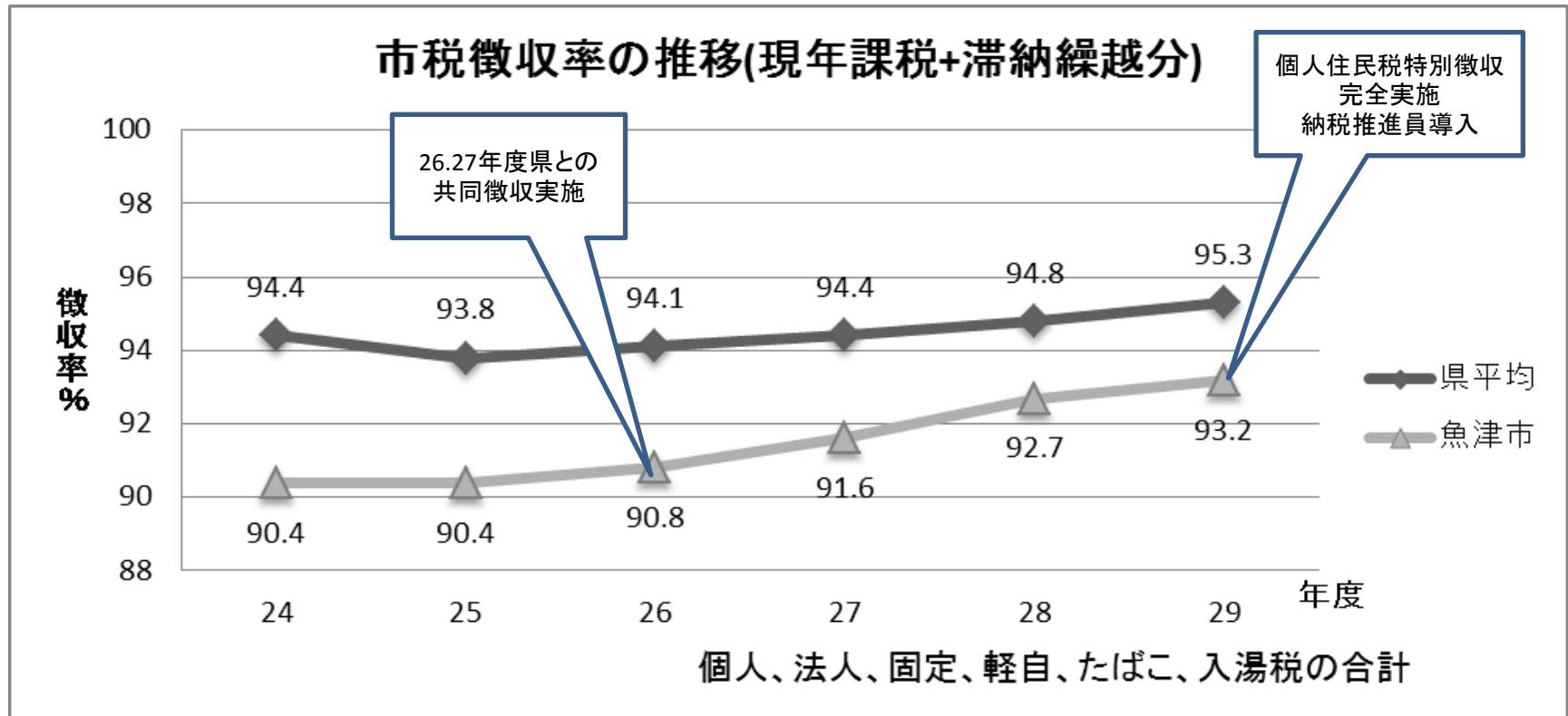


市税徴収率の推移 1

市税徴収率については、平成26年度からの取組の強化により少しずつ向上していますが、29年度では県平均95.3%に対し、本市は93.2%とまだ低い水準にあります。

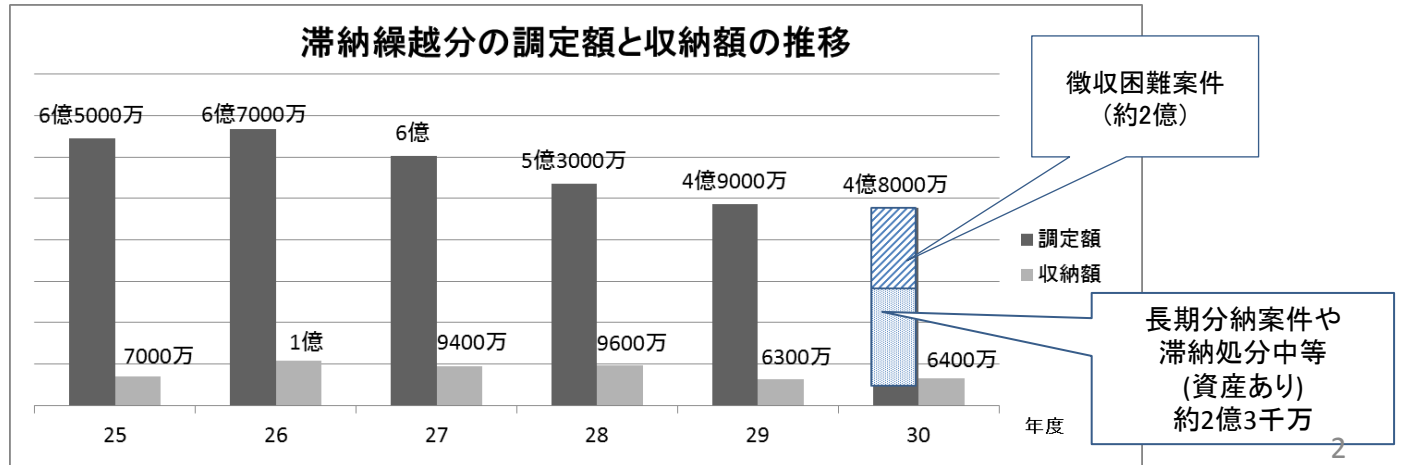
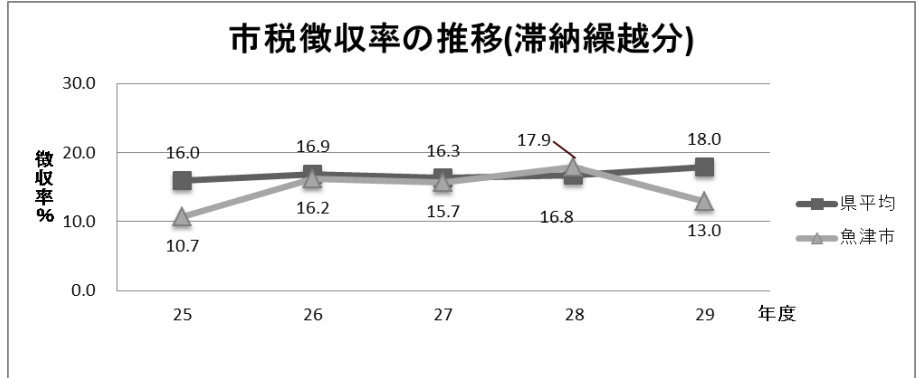
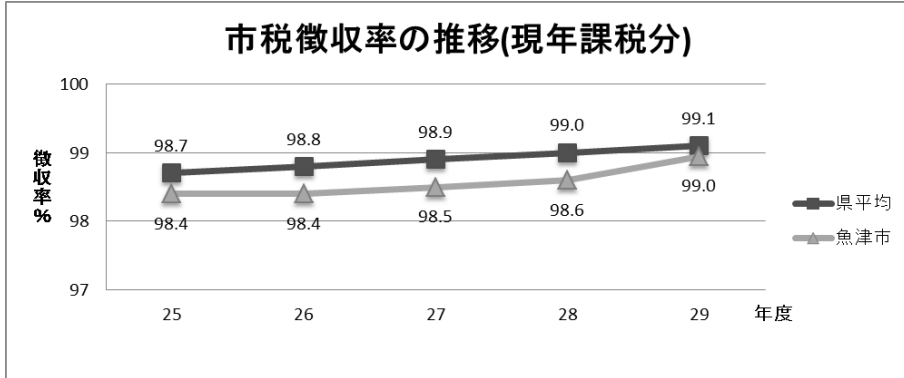


$$\text{徴収率} = \frac{\text{実際に納付された額(収納額)}}{\text{確定した納付されるべき額(調定額)}}$$

市税徴収率の推移 2

現年度課税分と滞納繰越分(過年度分)別にみると、現年度分は、29年度県平均99.1%に対し、本市は99.0%と一定程度改善しています。滞納繰越分についても、改善傾向にありましたが、29年度は県平均より低くなっています。

滞納繰越の額は、30年度4億8000万円となっています。このうちには、経営が破綻した事業者などで、資産売却の見込みもないなど、著しく徴収が困難となった長期滞納案件も含まれています。それらについては、今後適切に滞納処分の執行停止について検討を行う必要があります。



市税徴収率の推移 3

現年課税分について、R5年度までに99.3%とすることを目標とします。



・個人住民税を主な対象として、富山県と共同徴収※を31年度から実施するなど、効率的・効果的な徴収確保対策を講じます。

- ・個人住民税の特別徴収の推進
- ・弁護士の活用による滞納整理等
- ・納税推進員による現年度分の徴収強化

※共同徴収:総合県税事務所職員が市の徴税吏員として時限的に併任し、滞納整理に従事するもの。
(A市におけるH28~H30実績 約3,000万円)

